

幼保連携型認定こども園 西神戸 YMCA 保育園 6月えんだより

6月聖句：「主はわたしたちを造られた。」

<詩編100篇3節>

今年の5月は暑い日々が続きました。6月は恵みの雨が降る梅雨のシーズンとなり、夏の遊びも始まっていきます。外に遊びに行くと、色んな生き物と出会い、一緒に過ごすお友達にも更に関心が高まっていき、子ども達の探求する心も深まっていきます。薄着になって動けるシーズンは何だか気持ちがワクワクしますが、慣れない暑さや水分補給、体力や食事にも十分配慮しながら、夏を楽しく過ごしていきたいと思います。

さて、今月与えられた聖句は「神様が私達を造られた」という句です。中々理解しづらいといえますか、とっつき難い方が多いのではないのでしょうか。子ども達は、「神様が命を下さった」とストレートに納得出来るようですが、「あなたがたの命は尊い」と解釈すると理解しやすいかもしれません。時に私達は、自分の存在を受け入れられず、自分の価値を評価できない時に直面すると、前に進めず、今を全く受け容れられない時があります。そんな人々の苦悩は歴史にも溢れています。

移民として北米に連れてこられた多くの人々は、300年余り続いた過酷な強制労働や差別の経験から、自分達は劣った存在で、醜い存在であると、いつの間にか自らが思い込まされていました。そうした状況からは、生きることの喜びや希望という力は湧いてこないものです。モハメッド・アリというボクサーは、徴兵を拒否してチャンピオンシップを剥奪され、刑務所へ入れられた時、「Black is beautiful」と叫んだと言われます。その後、このことがニュースとなり、世界中の差別や抑圧に苦しんでいた数え切れない人々が、「自分達の命は尊いのだ」「立ち上がらなければ」と感じ勇気ももらいました。それは米国の黒人だけでなく、多くの少数者、そしてアフリカの黒人の方々にとっても、歴史を変えていく大きなエネルギーの源になったそうです。

「あなたがたの命は尊いのだ」という言葉の通り、一人一人は、大切な存在であり、私もあなたもこの世の中に必要として命を与えられ、神様が尊いとされている存在なのだと、心から理解すると、今も、これからも生きる勇気と希望が与えられるのではないのでしょうか。子ども達にも、この言葉を幼い心に刻み、様々なことを乗り越えて行って欲しいと心より願います。

年主題 「ともにつむぎだす」～希望の中で～

6月	乳児 (0,1,2歳児)	幼児 (3,4,5歳児)
月主題	おもしろい	動き出す
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 保育者や身近な友達と好きなあそびを見つける * まわりのものを見たり、触れたりして喜ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> * 神様の創られた自然の不思議さに目を向ける * 遊びを楽しむ中で自分の気持ちを伝えようとする * 友だちや保育者の言動、遊びに心を動かす
讃美歌	ひとりひとりのなをよんで幼児讃美歌Ⅱ 20	かなしいことがあっても こども改 131